

令和3年4月 利用定員と量の見込（支援プラン）の比較

資料7

教育・保育 提供区域 (※1)	A 利用定員				B 量の見込（支援プラン）（※2）				比較（A-B）				待機児童（R3.4.1）			
	1号	2号	3号（1,2歳）	3号（0歳）	1号	2号	3号（1,2歳）	3号（0歳）	1号	2号	3号（1,2歳）	3号（0歳）	2号	3号（1,2歳）	3号（0歳）	合計
01中央部	1,034	1,519	1,106	346	800	1,663	1,283	215	234	▲ 144	▲ 177	131				0
02中北部	995	1,187	689	177	610	1,269	846	133	385	▲ 82	▲ 157	44				0
03中西部	585	1,360	790	210	606	1,260	836	131	▲ 21	100	▲ 46	79				0
04南部	725	1,163	789	231	570	1,185	775	122	155	▲ 22	14	109				0
05佐土原	480	615	374	79	284	590	399	61	196	25	▲ 25	18				0
06田野	50	265	167	45	97	202	121	18	▲ 47	63	46	27				0
07高岡	75	182	117	31	86	179	108	15	▲ 11	3	9	16	1			1
08清武	215	562	297	70	230	479	347	54	▲ 15	83	▲ 50	16				0
合計	4,159	6,853	4,329	1,189	3,283	6,827	4,715	749	876	26	▲ 386	440	1			1

- <比較結果> ○ 高岡の2号は、利用定員数が量の見込みを上回っているものの、待機児童が出ている。
 ○ 中央部や中北部は、2号・3号（1、2歳）ともに利用定員が量の見込みを下回っているが、待機児童は発生していない。
 ○ 南部の2号も、利用定員が量の見込みを下回っているが、待機児童は発生していない。
 ○ 中西部と佐土原、清武の3号（1、2歳）についても利用定員が量の見込みを下回っているが、待機児童は発生していない。

(※1) 教育・保育提供区域…地域自治体をベースに、地理的条件や保護者の利用状況を踏まえ、市内を8の区域に分けて設定

(※2) 量の見込み…プラン策定時の市民意識調査や人口推計等を基に、計画期間における教育・保育の必要な定員数等の見込みを算定したもの

区域に含まれる地域自治体…中央部（中央東・中央西・小戸・櫛） / 中北部（大宮・東大宮・住吉・北） / 中西部（大淀・大塚・大塚台・生目台・小松台・生目） / 南部（赤江・本郷・木花・青島）